

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 25 年 8 月 15 日 (2013.8.15)

【公表番号】特表 2013-508860 (P2013-508860A)
 【公表日】平成 25 年 3 月 7 日 (2013.3.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-012
 【出願番号】特願 2012-535284 (P2012-535284)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/50 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/50 6 0 6 F

G 0 6 F 17/50 6 1 4 A

G 0 6 F 17/50 6 2 6 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 25 年 6 月 27 日 (2013.6.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

C A D システムにおいて、寸法決定されたオブジェクトモデルを作成する方法において、

C A D システム (1 0 0) によって、寸法情報 (2 1 5 , . . . , 2 2 5) を含んでいる 2 D C A D データを受信するステップ (6 0 5) と、

前記 C A D システム (1 0 0) によって、前記 2 D C A D データに対応する 3 D モデルを作成するステップ (6 1 5) であって、前記 3 D モデル (4 5 0) を、前記 C A D データにおける 2 D 表現の複数の面を折り曲げる (6 1 0) ことによって作成するステップと、

3 D 寸法を作成するステップ (6 2 0) と、

前記 3 D モデルの特徴に前記寸法情報を関連付けるステップ (6 3 0) と、

前記 3 D モデル (5 5 0) 及び前記関連付けられた寸法情報を前記 C A D システム (1 0 0) に記憶するステップ (6 3 0) とを備えており、前記寸法情報は前記記憶後に、前記 3 D モデルにおける相応の変更を自動的に生じさせるために編集可能であることを特徴とする、オブジェクトモデルを作成する方法。

【請求項 2】

前記 2 D C A D データは、2 D 図面で表されているオブジェクトの複数のサイドビューである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 3 D モデルは 3 D ワイヤフレームジオメトリである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

2 D 図面及び寸法情報に対応するソリッドジオメトリの特徴を識別することによって、前記寸法情報を前記 3 D モデルの特徴に関連付ける、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

寸法決定されたオブジェクトモデルを作成する C A D システムにおいて、

寸法情報 (2 1 5 , . . . , 2 2 5) を含んでいる 2 D C A D データが受信され (6 0 5) 、

前記 C A D データにおける 2 D 表現の複数の面を折り曲げる (6 1 0) ことによって前記 2 D C A D データに対応する 3 D モデルが作成され (6 1 5) 、
3 D 寸法が作成され (6 2 0) 、
前記 3 D モデルの特徴に前記寸法情報が関連付けられ (6 3 0) 、
前記 3 D モデル (5 5 0) 及び前記関連付けられた寸法情報が記憶され (6 3 0) 、前記寸法情報は前記記憶後に、前記 3 D モデルにおける相応の変更を自動的に生じさせるために編集可能であることを特徴とする、C A D システム。

【請求項 6】

前記 2 D C A D データは、2 D 図面で表されているオブジェクトの複数のサイドビューである、請求項 5 に記載の C A D システム。

【請求項 7】

前記 3 D モデルは 3 D ワイヤフレームジオメトリである、請求項 5 に記載の C A D システム。

【請求項 8】

2 D 図面及び寸法情報に対応するソリッドジオメトリの特徴を識別することによって、前記寸法情報が前記 3 D モデルの特徴に関連付けられる、請求項 5 に記載の C A D システム。

【請求項 9】

寸法決定されたオブジェクトモデルを作成する C A D システムのコンピュータのためのコンピュータプログラムであって、

前記コンピュータプログラムは前記コンピュータに下記ステップを実行させる、寸法情報 (2 1 5 , . . . , 2 2 5) を含んでいる 2 D C A D データを受信するステップ (6 0 5) と、

前記 2 D C A D データに対応する 3 D モデルを作成するステップ (6 1 5) であって、前記 3 D モデル (4 5 0) を、前記 C A D データにおける 2 D 表現の複数の面を折り曲げる (6 1 0) ことによって作成するステップと、

3 D 寸法を作成するステップ (6 2 0) と、

前記 3 D モデルの特徴に前記寸法情報を関連付けるステップ (6 3 0) と、

前記 3 D モデル (5 5 0) 及び前記関連付けられた寸法情報を前記 C A D システム (1 0 0) に記憶するステップ (6 3 0) とを
実行させる、ただし、前記寸法情報は前記記憶後に、前記 3 D モデルにおける相応の変更を自動的に生じさせるために編集可能であることを特徴とする、コンピュータプログラム

。

【請求項 10】

前記 2 D C A D データは、2 D 図面で表されているオブジェクトの複数のサイドビューである、請求項 9 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 11】

前記 3 D モデルは 3 D ワイヤフレームジオメトリである、請求項 9 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 12】

2 D 図面及び寸法情報に対応するソリッドジオメトリの特徴を識別することによって、前記寸法情報を前記 3 D モデルの特徴に関連付ける、請求項 9 に記載のコンピュータプログラム。